

第
37
号高
石
市

青少年健全育成

発行所
高石市青少年健全育成推進会
(高石市教育委員会)
〒592-8585
高石市加茂4丁目1番1号
TEL 265-1001

高石っ子憲章

高石市青少年健全育成推進会
昭和61年7月15日制定

わたしたちは、高石っ子が自ら豊かな社会をつくり出し、たくましく生きぬく人間に成長することを願っています。

そのため、家庭・学校・地域の協力のもと、自由と平和を愛し、正義と秩序を重んじ、たがいに尊重しあう民主的な人間に育つことをめざして、この憲章を制定します。

1. 高石っ子は、ひとりひとりがかけがえのない人として、たがいの人権を尊重する人間にならなう。
1. 高石っ子は、自ら学び、考え、判断し、豊かな創造力とひろい心をもった人間にならなう。
1. 高石っ子は、自然や人間のいとなみに感動し、生きること感謝し思いやりのある人間にならなう。
1. 高石っ子は、いかなる困難にも立ち向かう意志の強い人間にならなう。
1. 高石っ子は、家族のふれあいを大切に、家族の一員としてよりよい家庭を築きあける人間にならなう。
1. 高石っ子は、あらゆる活動の場を通して、豊かな体験を積み、心身共に健康な人間にならなう。
1. 高石っ子は、人や郷土・地域を愛し、社会に役立つ人間にならなう。
1. 高石っ子は、歴史と文化を大切に国際感覚を身につけた人間にならなう。

「東京パラリンピックめざして」
平昌オリンピック、パラリンピックで日本人選手が活躍し、多くの感動を与えてくれました。本市においても高石中学校出身の吉見さんが、パラリンピックの競技種目のひとつであるボッチャで、昨年11月の第19回日本ボッチャ選手権本大会で見事第3位となりました。

現在、吉見さんは2020年東京パラリンピックの出場をめざし、カモンたかいし(高石市立総合体育館)で日々練習をしています。

3月24日には吉見さんを迎えて、カモンたかいしでボッチャ体験会を開催しました。当日は子どもから高齢者さらに障がい者の方などがこのボッチャの楽しさや戦略を体験し、大いに盛りあがりました。



高石市長
阪口 伸 六

高石市青少年健全育成推進会会長

「ごあいさつ」



ボッチャ日本選手権3位 表敬訪問



きらり総合型クラブたかいし(卓球)

「子どもから高齢者、障がい者が楽しむ総合型地域スポーツクラブ設立」
高石市では、ウォーキングロードの整備や健康づくり教室の開催また健康ポイント事業の実施等「健康のまちづくり」を市の重要施策として推進しています。



ボッチャ体験会

「わが事・丸ごとの地域づくり推進事業」
現在、高石市では少子高齢化、核家族化が進む中、地域のすべての人が安心して暮らせるように、住民が主体となって地域課題を把握し、「わが事」として解決を図る地域づくりと地域の声を受け止め縦割りではなく「丸ごと」の包括的な相談支援体制の構築を進めております。



きらり総合型クラブたかいし(バドミントン)

同クラブは、運動・スポーツ活動を通じて、子どもから高齢者まで幅広い方々の健康増進、地域コミュニティの活性化に資することを目的として設立され、当初はバドミントンと卓球の2種目でスタートしますが、さらにボッチャなど子どもから高齢者さらに障がいのある方も参加できるパラスポーツの推進等に取り組んでまいります。

「青少年健全育成」
高石市では、過去にいじめによる不幸な事件が発生しました。このことを契機として昭和61年に「高石っ子憲章」を制定し、以来毎年「学校問題研修会」や市内の小中学校の生徒たちによる「わたしたちの生活を話し合う会」を開催し、いじめの撲滅に取り組んでおります。(裏面参照)



APP CAFE(コミュニティカフェ)

活準備セミナーの開催を行うなど多くの子育て世代にご参加いただき好評を得ております。

また、さらなる利用促進を図るため、昨年7月には4階図書館前を全面リニューアルし、絵本の読み聞かせ会や夏休みの読書感想文づくり講座を開催するなどこのアプラたかいしを市民がいつでも気軽に集える生涯学習の拠点として今後も様々な取り組みを行ってまいります。

同じく、アプラたかいしでは、一昨年12月にオープンした子育てウェルカムステーション「ハグッド」は、総利用者が5万人を超え、またハローワークと連携したマザーズ就

行政はもちろん、PTA等学校関係者や青少年指導員など青少年に関わるすべての方々と連携を図り、子どもたちを大切に守り健全に育む環境づくりに取り組んでまいります。

高石の子どもの明るい未来のために市民の皆様温かいご理解ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

わたしたちの生活を話し合う会

～わたしたちの学校生活をもっと楽しくするために～
今年度のテーマ「いじめのない学校をつくるために」

毎年、小学校・中学校が連携して開催されています。今年度は33回目を迎え、平成29年12月22日(金)に「高南中学校」で開催されました。高石市立の小中学校から児童生徒の代表が集まり、意見交換して交流を深めました。

今回は第1部では、取石小学校の取組についての発表を行いました。第2部ではそれぞれの班で今年度のテーマ「いじめのない学校をつくるために」について話し合い、その内容について、全体に発表しました。

A班テーマ

「いじめのない学校をつくるために」

【討議内容】

○A班では、まずいじめの構造について話し合った。いじめは、いじめられる人(被害者)、いじめめる人(加害者)、はやしたてる人(観衆)、見て見ぬふりをする人(傍観者)の四層構造になっている。いづれがどの立場になるか分からない。そこを確かめた。また、どんな理由があっても、されど人々が嫌だとはいじめられていいると思つたら、それはいじめであることも確認した。そして、どんなものがいじめになるのかを話し合った。たたく、無視する、暴言、避ける、仲間はずれ、机や物にいたずらをする、暴力、からかい、かげ口などの意見が出た。

その後、学校でいじめが起らないようにするために、どのようなことをしたら良いかを話し合った。

- ・挨拶運動のときに悲しい顔をかける。
- ・クラスみんなで一つのことを達成して、絆を深めていく。
- ・クラスの中に1人の子がいじめを見つけたら、すぐに先生に言う。
- ・自分がされて嫌なことは人にしない。
- ・いじめている人に注意をする。
- ・学校の中に相談できる環境を作る。
- ・たくわり活動を行い他学年で遊ぶ。

などの意見が出た。また、いじめている人に1人で注意をする、注意をなかなかなできないので、注意をするグループを作ったり、先生に助けを求めたりするのが良いという意見も出た。



最後に、いじめを無くすために各校で自分たちにできる取り組みについて考えて発表

B班テーマ

「いじめのない学校をつくるために」

【討議内容】

○まず、「いじめ」とはどのようなことか、それぞれが思うことを話し合った。人の物を隠す、暴力・暴言、差別する、悪口を言う、仲間外れ、以上のことが挙げられた。差別は、例えば勉強や運動ができる、できないなど、苦手なことがある子に対して態度を変えることである。さらに、いじめは①いじめをする人、②いじめを見ている人(助けた)、③いじめを助けている人(助けた)、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。



①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

①いじめをする人、②いじめを見ている人、③いじめを助けている人、④いじめを見ている人(おも)の4層に分けられる。

青少年健全育成推進会の主な取り組み

高石市青少年健全育成推進会では、次代を担う青少年たちが健やかに成長するよう、いろいろな取り組みを行っています。

平成29年度高石市青少年健全育成推進会事業報告

29年

4月

★街頭指導

市内各小学校別に毎月2回実施（通年実施）
青少年健全育成の啓発推進及び愛の一声運動等を行うとともに、青少年のたまり場となりやすい場所を巡回し、非行防止と健全育成を図る。

7月

★役員会

平成28年度事業報告
平成29年度事業計画

★青少年健全育成市民大会・社会を明るくする運動

場 所：高石市民文化会館小ホール
参加者：市民約150名
内閣総理大臣メッセージ朗読
高石市保護司会々長 中谷 正彦
講 演：テーマ「思春期の子どもの心理と接し方のヒント」
講 師：臨床心理士（スクールカウンセラー）山縣 千鶴子氏

11月

★青少年健全育成強調月間

ポスター掲示等による広報活動

★環境浄化運動

市内全域の環境調査（有害図書販売店の調査）

12月

★わたしたちの生活を話し合う会

テーマ：「いじめのない学校をつくるために」
参加者：市内小中学校の児童生徒代表

30年

1月

★学校問題研修会

テーマ：「家庭教育支援のあり方」
講 師：追手門学院大学 心理学部教授 三川 俊樹氏

学校問題研修会（講演）

日 時 平成30年1月31日(水)

場 所 高石市役所 別館3階 311・312会議室

テ マ 「家庭教育支援のあり方」

講 師 追手門学院大学 心理学部教授 三川 俊樹 氏

青少年健全育成推進会関係者、幼稚園・小学校・中学校PTA、学校園長等約60人に参加していただきました。

現代の社会で家庭の教育力・養育力が弱まっていると指摘され始めてもうずいぶん長くなります。その家庭の教育力・養育力の低下の原因として、地域の人間関係の希薄化や家庭の中でのコミュニケーションが乏しくなっていることなどが考えられています。その現れ方としては、社会との接点がない「孤独な育児」、子どもへの接し方や子育ての仕方が分からないという「子育て不安」、子育てが思い通りに進まない「子育て不満」、無関心や放任、暴力や虐待などがあげられています。そのことが、子どもたちにしわ寄せのように結びついてきてしまっています。具体的には、生活習慣・社会性・人間関係を身に付けられないまま、育ちそびれのまま、幼稚園や小学校などの学校教育の場、集団生活の場に生活を移してきた結果、様々なことが表面化してきています。例えば、いわゆる「小1プロブレム」とよばれているもので、落ち着けない、席に着けない、生き生きとした子どもらしさがない、表情がさえない、などのようがあります。

では、そもそも家庭教育とは何か。ここで、文部省（当時）の「今後の家庭教育支援の充実についての懇談会」（平成14年7月19日）の報告書の内容を少し紹介いたします。そこには、



「家庭教育は、親や、これに準ずる人が子どもに対して行う教育のことで、すべての教育の出発点である。乳幼児期からの親子の愛情による絆で結ばれた家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣・生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割を担うものである。家庭教育という言葉が、本来、基本的な生活習慣や社会性を子どもに身につけさせることを意味していることが、一般の人々には十分浸透していない。」とあります。

その家庭の教育力・養育力を高めようとする取り組みが、全国に先駆けてこの大阪府で始まりました。大阪府教育委員会が平成14年度から始めた「家庭の教育機能総合支援モデル（拡充）事業」というものです。この事業に関わり、その取り組み内容をふり振り返りながら、子どもたちの健やかな成長や発達を促すための基本的なポイントをご紹介します。

取り組みの内容としては、学校教育で活用されてきた教育相談や家庭訪問というアプローチを導入し、課題をもつ子どもへの援助を通して、家庭や保護者を支援し、家庭の教育機能を高めるといいます。具体的には、教育相談や家庭訪問を、サポートチームを組んで実施しました。このサポートチームは、地域の人材等のベテランと大学院生など若い人材のペアで組織され、学校を拠点とするチームでした。日々の活動としては、登下校を子どもと共にし保護者とあいさつ程度の会話や世間話を行う。立ち話程度の軽い家庭訪問を行いその日の子どもの様子をさりげなく伝える。子どもの学校での作品等を持って訪問し子どもの意欲や頑張りを伝える。子どものいないときに訪問し課題について保護者の気持ちに寄り添い話を聴く。

このような日々の活動を継続して行った結果、短期間で大きな成果が得られました。まず、家庭の変化が見られました。子ども中心の生活に変わる、子どもとの会話等が増える、学校に対する信頼感が回復する、地域の人との交流が増えるなど、保護者の意識が変化し、子どもへの理解が深まりました。そして、子どもの様子にも変化が見られました。生活リズムが好転し遅刻や欠席が減る、学習面においても意欲的に取り組み出す、良好な人間関係ができ友達が増える、心が安定し物事に主体的に取り組むなど、子どもの意欲・主体性を育むことができました。さらに、学校にも変化が見られました。教職員の教育課題に対する共通認識が深まる、クラスや学年を超えて支援が必要な子ども・保護者に教職員が一体となってアプローチするようになるなどが進み、いじめ・不登校など学校の教育課題が激減しました。

あらゆる機会を通じて、サポートチームと教職員の協働により、保護者に寄り添い、家庭へのアプローチを行った結果、保護者の自尊感情が高まり、子どもへの期待も回復し、保護者の成長・発達を促進することができたという成果が見られました。

高石市青少年健全育成推進会構成団体名

（順不同）

高 石 市	高石市PTA連絡協議会
高 石 市 議 会	高石市連合自治会
高石市教育委員会	高石市社会福祉協議会
高 石 警 察 署	高石市婦人団体協議会
岸和田子ども家庭センター	高石市母子寡婦福祉会
堺少年サポートセンター	高石市少年補導員
高石市内幼稚園	高石市こども会育成協議会
高石市内小学校	高石市スポーツ少年団
高石市内中学校	高石市文化協会
高石市内高等学校	高石市体育協会
高石市内専門学校	高石商工会議所
高石市防犯協会	高石ロータリークラブ
高石市保護司会	高師浜ロータリークラブ
高石市更生保護女性会	羽衣ロータリークラブ
高石市人権協会	堺浜寺ライオンズクラブ
高石市人権擁護委員	堺・高石青年会議所
高石市民生委員児童委員協議会	高石交通安全協会
高石市社会教育委員	高石中学校区地域教育協議会
高石市青少年指導員協議会	高南中学校区地域教育協議会
高石市内ボーイスカウト	取石中学校区地域教育協議会
高石市内ガールスカウト	